

外部システム

統合プロファイルの設定

統合プロファイルを設定するには、次の役職が必要です。

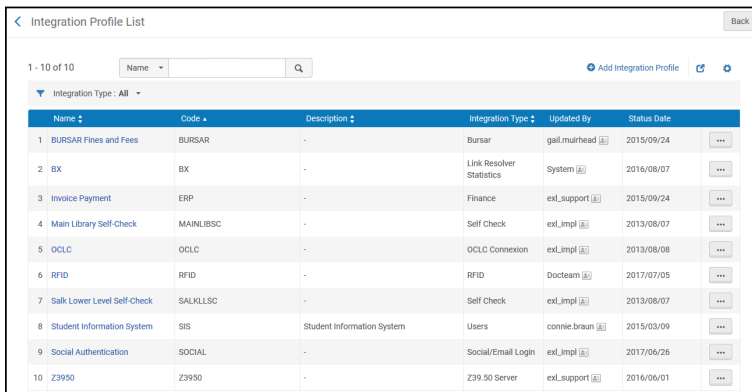
- 総合システム管理者

Almaは、標準プロトコル(S/FTPなど)を使用して、ベンダーシステム、エンタープライズリソース計画システム、目録システム、リモートストレージシステムなどの外部システムと統合します。詳細については、「[外部システムとの統合](#)」を参照してください。

一部の統合プロファイルは、外部システムへの情報のエクスポートや外部システムからの情報のインポートに使用できるジョブを作成します。他の統合プロファイルは、外部システムの設定に使用するトークンとコードを提供します。

外部システムとの連携に関する動画は「[外部システムとの連携](#)」（6分）をご覧ください。

[統合プロファイルリスト]ページで統合プロファイルの設定を開始します([設定メニュー]>[一般]>[外部システム]>[統合プロファイル])。



Name	Code	Description	Integration Type	Updated By	Status Date
1 BURSAR Fines and Fees	BURSAR	-	Bursar	gall.murhead	2015/09/24
2 BX	BX	-	Link Resolver Statistics	System	2016/08/07
3 Invoice Payment	ERP	-	Finance	exl_support	2015/09/24
4 Main Library Self-Check	MAINLIBSC	-	Self Check	exl_jmp1	2013/08/07
5 OCLC	OCLC	-	OCLC Connexion	exl_jmp1	2013/08/08
6 RFID	RFID	-	RFID	Docteam	2017/07/05
7 Salk Lower Level Self-Check	SALKLLSC	-	Self Check	exl_jmp1	2013/08/07
8 Student Information System	SIS	Student Information System	Users	connie.braun	2015/03/09
9 Social Authentication	SOCIAL	-	Social/Email Login	exl_jmp1	2017/06/26
10 Z3950	Z3950	-	Z39.50 Server	exl_support	2016/06/01

[統合プロファイルリスト]ページ

[統合プロファイルリスト]ページには、統合プロファイルのリストが含まれています。

このページでは次のアクションを実行できます。

- 統合プロファイルを追加します(下表にあるリンク先の各セクションを参照)。
- 統合プロファイルを編集します(その行のアクションリストで編集)。プロファイルを編集する際、プロファイルのタイプを変更することはできません。また、**連絡先情報**タブで、プロファイルに関連する連絡先情報を追加できます。このタブのフィールドの詳細については、「[機関/図書館のコンタクト情報の設定](#)」を参照してください。
- 統合プロファイルを削除します(その行のアクションリストで[削除])。
- ジョブ履歴を表示します(その行のアクションリストで[ジョブ履歴]。「[完了したジョブの表示](#)」を参照してください。)

統合プロフィールの追加と編集の詳細については、次のセクションを参照してください。

統合プロフィールに関する情報へのリンク

プロフィールタイプ	説明	その他の情報
Alephブリッジ統合	Alma以外のメンバーの目録を、中央システムからAlmaネットワークゾーンが管理するブリッジ機関に統合します。	Alma以外のメンバーの目録を、中央システムからネットワークゾーンが管理するブリッジ機関に統合
APIの制限		このプロフィールの詳細については、 https://developers.exlibrisgroup.com/blog/working-with-api-restriction-profiles/ の開発者ネットワークのドキュメントを参照してください。
拡張	OpenURLの強化を設定します。	Almaリゾルバ拡張
典拠レコード投稿		将来使用するためのものです (コミュニティゾーンのみ)
Bursar	罰金および手数料を機関のBursarシステムにエクスポートします。	罰金および手数料をBursarシステムにエクスポート
CAS	外部システムとのシングルサインオンのために認証および承認情報を交換します。	CASに基づくシングルサインオン/サインオフ
セントラル目録統合	外部の中央目録をAlmaと統合します。	<ul style="list-style-type: none"> • Aleph – Aleph中央目録の統合 • SBN – SBNイタリア連合目録の統合 • SUDOC – SUDOCとAlma機関の統合
クラウドIdP		将来使用するためのものです
コースユーザーマッピング	Legantoで使用するためにコース登録情報をAlmaにインポートします。	コース登録インポートジョブの設定
コース読み込み	コース管理システムからコースをインポートします。	コースの読み込みの設定
デジタルコンテンツストア	英国CLAのデジタルコンテンツストアと統合します。	英国のデジタルコンテンツストア(DCS)との統合
ディスカバリーインターフェイス	[Get It]タブで所在地の地図へのリンクを設定します。	所在地の地図へのリンクのテンプレートを設定
財務	機関の財務システムとの間で、ベンダーからの請求書とオーダーをインポート・エクスポートする。	財務システム
Google	図書館特有の資料をGoogleに公開している、またはサイトのGoogleへの公開を監視したいお客様は、この統合を使用してGoogle ConsoleでPrimo VEのお客様の接続を確認することができます。	Google Search ConsoleとPrimo VEの統合

プロファイル ルタイプ	説明	その他の情報
処理	ホストされている処理サーバーと直接統合し、既存の管理番号 機能を使用して処理を作成します	デジタルリソースの常時処理識別子の構成
LDAP	LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)システムから情報をインポートします。	LDAPをサポート
リンクリゾ ルプラグ イン	EBSCO リンクリゾルプラグインは、フルテキストで利用可能な最も正確なURLを判定するAPIを使用して外部チェックを実行します。TLS 1.2 のみがサポートされています。	
リンクリゾ ルバ統計	bX統合プロファイルは、Almaのリンクリゾルバデータの統計を共有するために、AlmaとbX間の接続を統合します。 さらに、Primo VEのお客様は、bX推奨サービスを登録して有効にすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • Almaリンクリゾルバデータ統計をbXと共有 • bXによる推奨については、「Primo VEについてbXによる推奨を設定」を参照してください。
リンク済み データ	構造化されたリンク済みデータを公開します。	リンク済みデータ
LTIツール	Legantoとコース管理システム間の認証。	学習ツールの相互運用性(LTI)の設定
メールの取 扱い	送信Eメールの取扱い	送信Eメールの設定
メタデータ の外部強化	Happiness音訳ツールを使用して日本語表記を充実させるには、この統合オプションを選択します。	AlmaとHappinessの統合
NACSIS	NACSIS-CAT/ILLシステムとの通信のための設定です。	NACSISによる設定
新規発注 API	ベンダーのデータベースからPO lineへのレコード同期を行います。 このプロファイルは、新規発注APIを使用するすべてのベンダーと連携し、RESTクライアントがAPIを使用して発注を作成する場合にも使用されます。詳細については、プログラム開発者ネットワークの次の項目を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 機関向け：参加ベンダーとのリアルタイム受入ワークフローの設定 • 複数の新規発注API統合プロファイルの使用 <hr/> <p>Note</p> <p>共同ネットワークの場合、「ネットワークゾーンを使用する」チェックボックスが表示されます。詳細については、「インポートプロファイルの管理」を参照してください。</p> <hr/>	リアルタイム発注による注文明細の作成 新規発注統合プロファイルの設定 。
OAIリポジ トリ定義	レコードをOAIタイプとして公開します。	OAI統合の設定

プロファイル ルタイプ	説明	その他の情報
OCLC Connexion	OCLC Connexionからレコードをインポートします。	OCLC Connexionからレコードをインポート
オンライン の支払い	WPM Education電子決済システムを使用して、支払い領収書のEメールをユーザーに送信します。	WPM Education電子決済システムの設定
オンライン ユーザー更 新		将来使用するためのものです
OpenID Connect	ユーザー 認証 レイヤー。	OpenID Connect
ORCID	Alma Refineクラウドアプリを使用することで、 ORCID 認証情報を用いて ORCID URI を Bib レコードに追加することができます。	詳細については、 Alma Refineを使用した書誌レコードのORCID URI強化 を参照してください。 クラウド アプリの詳細については、 Alma Refine を参照してください。
リーディ ングリス トロー ダー	.txtまたは.csvファイルからリーディングリストをインポートします	リーディングリストローダー
RFID	RFIDリーダーを使用して、アイテムのRFIDタグと通信します。	RFIDサポート
リモート ストレ ージ	リモートストレージの場所や、自動ストレージおよび検索システムからリソースをリクエストします。	リモートストレージ施設へのリクエスト または Dematic ASRSの設定
リゾル バプ ロキシ	リゾルバプロキシの定義を設定	リゾルバプロキシ または OpenAtens リダイレクタ 二
リソー スシ ェア の統 合	外部システムから取寄せリクエストをインポートします。	外部システムからのリソースシェア取寄せリクエストのインポート AlmaとNetpunkt ILLシステムの統合
SAML	外部システムとのシングルサインオンのために認証および承認情報を交換します。	SAMLに基づくシングルサインオン/サインオフ
SMSコ ミュ ニケー ショ ン	ユーザーとのSMSコミュニケーションを設定します。	SMSコミュニケーション
SRUサー バー	SRU/SRW検索機能を有効化します。	SRU/SRW検索
SWORD サー バー	リポジトリに追加するコンテンツをAlmaに送信します。	SWORDサーバー統合プロファイルの設定
セルフ チェ ック	Almaとセルフチェックマシン間の通信を設定します。	セルフチェックマシン

プロファイル ルタイプ	説明	その他の情報
ソーシャル ログイン/E メールログ イン	ユーザーログイン用のソーシャルネットワークまたはEメールとの接続を設定します。	ソーシャルログインとEメールでのログイン
Springshare API統合	AlmaとSpringshare API間の通信を構成します。	Springshare Integration
電子所蔵の アップロード	Elsevierの電子所蔵をアップロードおよび更新します。 Ovidの電子所蔵をアップロードおよび更新します。 ProQuest Ebook Centralから電子所蔵をアップロードおよび更新します。 Springerから電子所蔵をアップロード Taylor & Francis の電子所蔵をアップロード Wileyから電子所蔵をアップロード	Elsevierから電子所蔵をアップロード Ovidから電子所蔵をアップロード 購読/所蔵/DDAのためにProQuest Ebook Centralから電子所蔵をアップロードする Springerから電子所蔵をアップロード Taylor & Francis の電子所蔵をアップロード Wileyから電子所蔵をアップロード
ユーザー	学生情報システムとの間でユーザーをエクスポートまたはインポートします。	学生情報システム
Webhook	ジョブが終了した際に、設定されたURIへのHTTPリクエストを行います。	Webhook
Z39.50サー バー	Z39.50検索機能を有効化します。	Z39.50検索

S/FTP接続の設定

S/FTP接続を設定するには、次の役職が必要です。

- 統括システム管理者

外部システムへの多くの接続では、Almaと外部システム間でファイルを転送するためにS/FTP接続が必要です。この接続が定義されたら、それを該当する統合プロファイルに割り当てることができます（[統合プロファイルの設定](#)を参照）。テスト中に許可されるS/FTP接続を設定するには、[以下](#)を参照してください。

Note

- サンドボックス環境や、実稼働前のAlma環境で作業している場合、許可されるS/FTP接続を定義する必要があります。詳細については、「[テスト中に許可されるS/FTP接続の設定](#)」を参照してください。
- Almaは、SSH上のセキュアFTP(SFTP)をサポートしていますが、SSL上のFTPSはサポートしていません。詳細なポート情報については、「[Almaとディスクバリーの実装に関する技術要件](#)」を参照してください。
- 許可されたEメールと許可されたS/FTP設定のリストは、プレミアム サンドボックス (PSB) の更新中に保持され

まず ([Almaサンドボックス環境](#)を参照)。

S/FTP接続のリストページ ([\[設定メニュー\]](#) > [\[一般\]](#) > [\[外部システム\]](#) > [\[S/FTP定義\]](#)) からS/FTP接続 (機関のみ) を構成します。



Name	Description	
1 AlmaFTP sample	AlmaFTP sample	...
2 SIS	Student Information System	...

[\[S/FTP接続のリスト\]](#)ページ

Note

Almaは、JSchのバージョン0.1.53を使用することで、次の鍵交換アルゴリズムをサポートしています (<https://github.com/mwiede/jsch>を参照)。

- diffie-hellman-group-exchange-sha1
- diffie-hellman-group1-sha1
- diffie-hellman-group14-sha1
- diffie-hellman-group-exchange-sha256
- ecdh-sha2-nistp256
- ecdh-sha2-nistp384
- ecdh-sha2-nistp521

Ex Librisは、さまざまなサイトとの下位互換性のために非推奨バージョンをサポートしていますが、上記のより強力なアルゴリズムを推奨しています。

このページでは次のアクションを実行できます。

- S/FTP接続を追加します([「S/FTP接続の追加」](#)を参照してください)
- S/FTP接続を表示します(その行のアクションリストで[表示])。
- S/FTP接続を編集します(その行のアクションリストで[編集])
- S/FTP接続を複製します(その行のアクションリストで[複製])
- S/FTP接続を削除します(その行のアクションリストで[削除])

S/FTP接続の追加

統合プロファイルで使用するために、新しいS/FTP接続を定義できます。

新しい**S/FTP接続**を追加するには：

1. [S/FTP接続のリスト]ページで([設定メニュー] > [一般] > [外部システム] > [S/FTPの定義])、[S/FTP接続の追加]を選択します。[S/FTP接続の更新]ページが表示されます。

[S/FTP接続の更新]ページ

2. 新しいS/FTP接続の名前(必須)と説明(任意)を入力します。
3. 以下のテーブルの説明に従って、残りのフィールドに情報を入力します。

S/FTP接続に関するフィールド

フィールド	説明
サーバー(必須)	ファイルを送受信するサーバーのIPアドレス。ドットで始めることはできません。また、引用符で始めたり終わったりすることはできません。
ポート(必須)	サーバーのポート。
サブディレクトリまたはフルパス	<p>ファイルが保存されるサブディレクトリ。これが絶対パスの場合は、「フルパスである」チェックボックスを選択し、パスの前に「/」記号を付けます。これが相対パスの場合、「フルパスである」をクリアのままにして、現在のディレクトリからパスを開始します。</p> <p>統合プロフィールでサブディレクトリも指定すると、このディレクトリはそれに連結されます。たとえば、SYSTEM1のS/FTP接続をサブディレクトリ-ftpと定義し、</p> <p>次のように書誌レコードのエクスポートプロフィールを定義したとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> FTPの設定-system1 FTPサブディレクトリ-alma <p>この統合プロフィールによって転送されたファイルは、外部システムのftp/almaディレクトリに保存されます。</p> <p>S/FTP定義のディレクトリと統合プロフィールは、次のように機能します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [設定メニュー] > [一般] > [外部システム] > [S/FTPの定義]で行われたS/FTP接続の定義にサブディレクトリがあります。 [設定メニュー] > [一般] > [外部システム] > [統合プロフィール]で定義された統合プロフィールには、サブディレクトリと呼ばれるフィールドがあり、このフィールドはファイルがどこから取得されどこに配置されるかを定義します。 統合プロフィールのサブディレクトリは、S/FTPの定義のサブディレクトリに相対的です。したがって、たとえば： <ul style="list-style-type: none"> 統合プロフィールによって使用されるS/FTPプロフィールに、Almaというサブディレクトリがあり、 ユーザータイプの統合プロフィールの入力ファイルパスがyilis_patronsだった場合、 ファイルは、[ルートディレクトリ]/Alma/yilis_patronsから取得されます

フィールド	説明
	<hr/> <p>Note</p> <p>サブディレクトリはリモート ストレージへリクエストを送信するジョブに必須です。</p> <hr/>
最大ファイル数	使用中でない。デフォルト値を受け入れます。
最小ファイル数	使われていません。デフォルト値を受け入れます。
最大ファイルサイズ	使用中でない。デフォルト値を受け入れます。
サイズのタイプ	ファイルサイズに使用される単位。有効な値は、GB、MB、およびTBです。デフォルト値はGBです。
ナビゲーションを許可	FTPサイトの他の領域へのアクセスを有効にする場合は[True]、しない場合は[False]にします。デフォルトでは、ナビゲーションを許可する(Ture)になっています。
FTPサーバーのタイプ	デフォルトまたはMVS。IBMのMultiple Virtual Storageオペレーティングシステムで動作させるには[MVS]を選択します。
FTPパッシブモード	<p>クライアントIPがパッシブモードで動作するかどうかを示します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>OCLC公開統合プロファイルは、パッシブモードを必要とします。</p> <hr/>
モダンクライアントを使用する	このチェックボックスを有効にすると（デフォルト設定）、Alma 内で行われるすべての FTP リクエストが、最新の FTP プロトコル標準を使用して実行されます。
FTP サーバーのセキュリティを確保する	<p>FTPサーバーが保護されている場合に選択します。このオプションが選択されている場合、[認証方法]オプションが表示されます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>FTPサーバーのタイプとしてMVSを選択する場合、このオプションは選択しないでください。セキュアMVSサーバーはサポートされていません。</p> <hr/>
認証方法	<p>FTPサーバーの保護が有効になっている場合に表示されます。次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー名/パスワード認証 - ユーザー名とパスワードを使用します。 キー認証 (公開キー暗号化) - これを選択すると、公開キーが表示されます。公開キーは、Alma から受入したファイルの認証に使用されます。このオプションを選択すると、パスワードフィールドが削除されます。
ユーザー名(必須)	S/FTPのユーザー名。このフィールドは、セキュアFTPを使用しているかどうかに関係なく表示され、入力必須です。
パスワード(必須。ただし、キー認証が選択されている場合を除く)	S/FTPパスワード。キー認証を使用していない場合は必須です。

フィールド	説明
	<p>Note</p> <p>Almaは、特殊文字を含むパスワードをサポートしていません。</p>
公開キー	<p>Almaの公開キー。FTPサーバー上の<code>ssh/authorized_keys</code>ファイルにこのキーを追加する必要があります。</p> <p>Note</p> <p>Alma上の機関はすべて独自の公開キーを持っています。ネットワークゾーンを実装する場合、顧客は<code>authorized_keys</code>ファイルに各機関の公開キーを追加する必要があります。</p>

4. S/FTP接続をテストするために**FTP**のテストを選択します(推奨)。次のFTPコマンドアクションが成功したことを示すメッセージが届きます。

- ・ コマンドls、pwd、cdを使用して、指定されたディレクトリ内のファイルのリストを確認する
- ・ putとgetコマンドを使用して、ファイルをアップロードおよびダウンロードする
- ・ deleteコマンドを使用して削除する

これらのアクションが成功したというメッセージが届かない場合は、続行する前にS/FTP接続の問題を解決してください。

Note

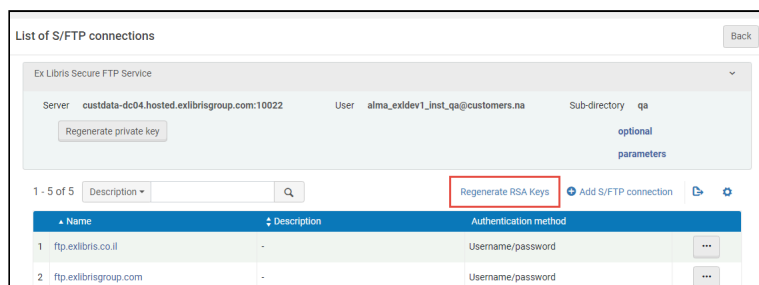
OCLC FTP接続の場合は、**FTP**をテストするボタンを無視してください。

OCLCは、ファイルがOCLCファイル交換システムにアップロードされた後、後続の処理のためにファイルをすぐにキューに移動します。その結果、**FTP**をテストするプロセスは失敗します。

5. 完了したら[保存]を選択します。

S/FTPプロファイルでキーを再生成

機関に関連付けられた公開キーは静的なままであり、更新やリフレッシュができませんでした。Almaでは、次の手順に従って公開キーをリフレッシュできます。[Alma設定 > 一般 > S/FTPの定義](#)に移動し、**X**キーの再生成をクリックします。



S/FTP接続

秘密鍵を再生成する b ボタンを選択すると、Ex Libris のセキュアFTPサービス用の秘密鍵が直ちに再生成されます。これにより、以前に生成された秘密鍵は無効となり、Almaの本番環境およびサンドボックス環境の両方に影響します。

許可されるEメールの設定

許可されるEメールを設定するには、次の役職が必要です。

- 一般システム管理者

この機能は、まだ実装/テスト段階にあり、構成が認定されていない顧客向けの a) サンドボックス環境、または b) Alma 実稼働環境でのみ利用できます。

テスト中に機関の通信に使用する特定のEメールアドレス/ドメインを定義できます。これにより、不要な通信が回避されます。Almaは他のEメールアドレスにEメールを送信しません。

Note

- Eメールでの通信がこのテーブルのEメールアドレスに制限されるのは、少なくとも1つのEメールアドレスがこのテーブルで定義されている場合のみです。このテーブルのエントリすべてを完全に削除しないでください。このテーブルに何も入力されていない場合、Almaのあらゆる場所に入力された電子メールアドレスに対して、制限なく電子メールをやり取りできます。
- サンドボックス環境では、受信アドレスが許可されたメールリストに登録されていない限り、メールを送信できません（設定メニュー > 一般 > 外部システム > 許可されたメール）。リストに何も入力されていない場合、電子メールは送信されません。
- MFAが有効になっている場合（「[Ex Libris Identity Service](#)」を参照）、ログインする必要があるすべてのスタッフのEメールアドレスを使用して、[許可された電子メール]リストを設定する必要があります。
- 許可されたEメールと許可されたS/FTP設定のリストは、プレミアム サンドボックス (PSB) の更新中に保持されます（[Almaサンドボックス環境](#)を参照）。

Eメールやドメインは、「Eメール使用リストマッピングテーブル」で設定します（[設定メニュー] > [一般] > [外部システム] > [許可されるEメール]）。マッピングテーブルの詳細については、「[マッピングテーブル](#)」を参照してください。

Enabled	Email / Email Domain	Include list description	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>	exlibrisgroup.com	include only exlibris e-mails	-	-

Eメール使用リストマッピングテーブル

ドメインとアドレスを追加・削除・有効化/無効化できます。Almaは、アクティブなアドレスやドメインにのみEメールを送信します。

Note

ネットワークゾーンレベルの場合、その設定テーブルへのアクセスは中央設定ダッシュボード
（[\[設定メニュー\]>\[ネットワークゾーン\]>\[一般\]>\[外部システム\]>\[許可されたEメール\]](#)）から直接行われます。中央設定ダッシュボードの詳細については、[コンソーシアム中央設定ダッシュボード](#)を参照してください。

ドメインは実装運用環境でのみ機能し、サンドボックス環境では機能しません。

テスト中に許可されるS/FTP接続の設定

許可されるS/FTP接続を設定するには、次の役職が必要です。

- 総合システム管理者

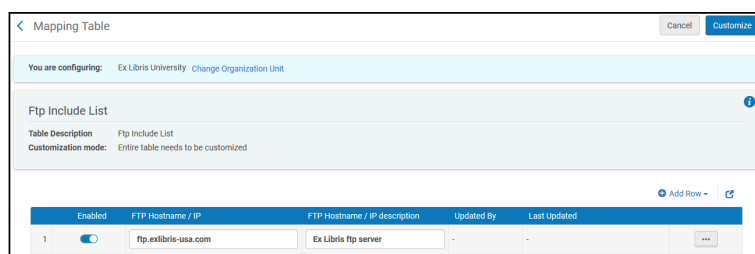
この機能は、まだ実装/テスト段階にあり、構成が認定されていない顧客向けの a) サンドボックス環境、または b) Alma 実稼働環境でのみ利用できます。

Almaでは、テスト中に機関の通信に使用することを許可されたS/FTP接続を定義できます。これにより、不要なファイル転送が回避されます。Almaが他のS/FTP接続の使用を試みることはありません。S/FTP接続の設定の詳細については、[上記](#)を参照してください。

Note

S/FTPがこのテーブルのアドレスに制限されるのは、少なくとも1つのアドレスがこのテーブルで定義されている場合のみです。このテーブルのエントリすべてを完全に削除しないでください。このテーブルが空の場合、Alma内のいずれの場所に入力されたアドレスに対しても、制限のないS/FTP通信が有効になります。

S/FTPテスト接続は、FTP使用リストマッピングテーブルで設定します（[\[設定メニュー\]>\[一般\]>\[外部システム\]>\[許可されるS/FTP接続\]](#)）。マッピングテーブルの詳細については、「[マッピングテーブル](#)」を参照してください。



Enabled	FTP Hostname / IP	FTP Hostname / IP description	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>	ftp.exlibris-usa.com	Ex Libris ftp server	-	-

FTP使用リストマッピングテーブル

アドレスを追加・削除・有効化/無効化できます。

Note

ネットワークゾーンレベルの場合、その設定テーブルへのアクセスは中央設定ダッシュボード
（[\[設定メニュー\]>\[ネットワークゾーン\]>\[一般\]>\[外部システム\]>\[許可されたS/FTP接続\]](#)）から直接行われます。中央設定ダッシュボードの詳細については、[コンソーシアム中央設定ダッシュボード](#)を参照してください。